

一粒の麦 場面六

医術を学ぶ



男装して女人禁制の医学校に通う吟子。
苦肉の策で男装して登校したが、
差別を受けながらの、厳しい毎日。

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。

女子高等師範学校幹事の永井久一郎教授は医学校への女子の入学が難しいことを知っていましたが、彼女の意志が固いことをみて、石黒忠恵を紹介し、石黒は吟子のために尽力し、医学校好寿院への入学が許可されました。吟子は、男尊女卑の屈辱を受けながら、3年間の修学を終え、明治15年(1882)、優秀な成績で好寿院を卒業しました。